



Japan Association of  
Music Publishing

# 日本楽譜出版協会会報

2015年(平成27年)8月 第28号

## ■ 楽譜出版の未来と役割

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
会長 佐々木隆一

インターネット社会の黎明期には想像もできないほど短期間にスマートフォンやタブレットなどネットにつながる情報端末が普及しており、いまや一人複数台の情報機器を保有するようになってきました。皆さんも電子メールやエクセル、ワード等ビジネスに必要なツールを利用できないと社会活動に問題が生じるだけでなく間違いなく仕事にならないと思います。

情報化社会の進化はすべての個人に対して生活基盤となるあらゆる情報の入手や情報源へのアクセスはすべてインターネットにつながっていることが前提になっております。また音楽だけでなく新聞、雑誌、書籍などの印刷系コンテンツもデジタル化によってインターネットにおけるコンテンツ流通プラットフォームで流通するようになり個人が直接コンテンツにアクセスできる環境が当たり前の社会になりました。

音楽分野においては年齢問わず莫大な利用者を有する You Tube、Facebook、LINE などのコミュニケーションツールの活用により、音楽作品プロモーション機能を利用してレコード会社やアーティスト個人とグループを問わず、作品の普及と PR が日常的に行われております。我々の音楽産業分野でもこれらの情報コミュニティ・ネットワークの影響を大きく受けております。

アメリカレコード産業協会の最新の統計では音楽売上構成比率で CD 等パッケージは 35%

前後、ダウンロード及びストリーム等ネット配信流通は合計で 65% とデジタルコンテンツ売上が過半数を超えております。

ネット社会において事業の在り方が大きく変貌している状況で、我々楽譜ビジネスでも当然ですが顧客がほしい楽譜をどのように探すのか、どのように楽譜を入手したがつているのか良く理解することが楽譜事業の経営上極めて重要となってきます。いまや楽譜出版においても楽譜制作から版下製作、楽譜ビューワーまで一貫してデジタル化しており、配信システムの進化で流通販売までネットインフラに依存しております。その結果、伝統的な楽譜出版事業者でなくても簡単に合法的な出版が可能になり、また非合法的なネット流通も盛んになってきたことから、AMEI のソフト著作権部会では楽譜の違法流通の実態調査と取り締まりについて JASRAC に申し入れ等しているところです。

楽譜事業をしっかりとした事業基盤で経営するためには、顧客のニーズや入手希望メディア、購入方法などを理解してビジネスモデルや流通等の事業設計をする必要があります。もともと楽譜は出版分野の中でも特に多品種少量生産分野の出版としての特徴があります。デジタルテクノロジーの進化で 1冊からでも受注・製造・配送・販売・権利処理代行まですべての楽譜ビジネスの工程を代行する統合型のオンデマンドプラットフォームを提供する印刷代行事業が進化してきております。

## ■「文化芸術推進フォーラム」の紹介と加盟について

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
名誉顧問 内田 豊

### 文化芸術推進フォーラムについて

文化芸術推進フォーラムは2001年に施行された文化芸術振興基本法成立を支援した舞台芸術、音楽、映画等、文化芸術に関わる芸術関係団体が集い、文化芸術振興基本法推進フォーラムを発足させました。2003年4月1日より、同フォーラムは「文化芸術推進フォーラム」と名称を変更し、現在は、当協会も含め16の団体で構成されています。文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、超党派・文化芸術振興議員連盟と連携し文化芸術振興基本法の理念の浸透、啓発を図り、文化芸術振興のための政策提言などの活動を行っています。

設立趣旨では、「我が国でも近年、徐々にではありますが、芸術文化の社会的基盤整備が充実してきています。しかしながら、居住する地域や経済・社会的な要因によって、人びとが芸術文化を楽しむ機会には、依然として不均衡が存在し、創造的な活動に才能のある人びとが、十分にその能力を発揮して活動できる体制が整っているとは言えません。「芸術家および芸術文化諸活動の担い手が専門家として活動する条件の整備」の重要性を、あらゆる人々の共通認識とし、文化的環境の整備に取り組んでいくことが、日本の社会、経済の発展につながると考えます。

わたしたちはここに手をつなぎ、「文化芸術振興基本法」の制定を契機とし、文化芸術が豊かに息づく社会づくりに貢献する活動を進めることを宣言し、広く皆さまのご協力をお願い申し上げます」と述べています。

会員には、私ども日本楽譜出版協会と関係の深い、日本音楽作家団体協議会、日本音楽著作権協会、日本音楽出版社協会、日本レコード協会、各種音楽演奏家団体等が加盟しています。

音楽を創作する音楽作家（作詞者・作曲者）の芸術活動なくして楽譜出版者は存在しません。また、楽譜の出版があつて、その楽譜を利用する演奏家が、演奏会や放送やレコード音盤製作等の芸術活動を通じて大衆に伝播しています。それによって国民は、芸術文化を享受でき、人々の生活を豊かにすることができるのです。

当協会も文化芸術推進フォーラムに加盟することによって他の芸術団体との交流を図りながら文化芸術全般について理解を深めるとともに、他の芸術団体にもあらゆる音楽活動の基盤になっている楽譜出版について、これまで以上に関心を持って頂けるようにしたいと考えています。

また、近年、コンピュータやインターネットの普及によるデジタル社会の到来で、情報社会の産業革命が起こり、私たちの生活が一段と便利になった側面と個人が簡単に音楽情報を無断で違法にコピーし、ネット社会に情報を拡散している問題があります。それによって芸術文化活動に弊害が生じ始めています。

私ども楽譜出版の分野でもネット等における違法楽譜コピー等の影響で楽譜出版の活動に支障をきたしています。そのことが次代の音楽文化の創造の担い手である音楽教室における教師や生徒たちをはじめ音楽芸術活動を行う専門芸術家の活動にも影響を与えています。

一音楽団体だけでこれらの社会現象に対抗することは極めて困難であり、共通する文化芸術団体に加盟することで、お互いの問題点を認識しつつ、その解決方法を話し合いながら、楽譜出版の存続と芸術文化の発展と社会貢献を目指してともに活動して参りたいと思います。

### 文化芸術振興議員連盟について

1977年、超党派の衆参国会議員36名を会員に、文化芸術振興議員連盟の前身である音楽議員連盟を結成。これまで議員立法で「貸しレコード暫定措置法(1984年)」、「音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律(1994年)」、「文化芸術振興基本法(2001年)」、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(2012年)」を成立させたほか、著作権等の保護期間、私的録音補償金制度など著作権制度の改正に尽力。音楽分野に限らず映画を含めた実演芸術、芸術家に関わる幅広い多くの課題解決に貢献しています。2013年5月に音楽議員連盟から文化芸術振興議員連盟に改称。

この会は、音楽、演劇、舞踊、演芸、伝統芸能など実演芸術、映画及び美術等の文化芸術を通じて、国民のなかに豊かな情操を養い、またあらゆる機会をとらえて行政府、立法府の文化政策の方向について、抜本的な意識改革をめざす一方、わが国の実演芸術、映画、美術界等が直面する諸問題に対し超党派で寄与し、文化芸術を図ることを目的としています。

1. 国家予算に占める文化予算の割合を中長期的に0.5%に高めることをめざす
2. 文化省の創設をめざす
3. デジタル時代、グローバル化社会に対応して懸案となっている著作権課題の解決をめざす  
(参考資料：文化芸術振興議員連盟ホームページより)

## ■理事長からひとこと

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
理事長 堀家康雄

非力ながら先の総会で改めて理事長を拝命いたしました。会員各社の引き続きのご指導をお願いいたします。

さてこの春から電子書籍市場が急速に拡がっています。自社の件で恐縮ですが、電子書籍・雑誌は当社の月商でも既に無視できない比率を確保しつつあります。また以前に比して電子化のコスト・手間も大幅に下がったこともあつて全体に利益が見込めるスキームになってきました。先に総会の席上で会長がお話しされた楽譜配信も低単価であるため売上高では及ばないもののダウンロード件数そのものは電子書籍を上回っておりコンスタントに売上は伸びております。

今後は配信での売れ行き傾向を慎重に見極めたうえで人気曲を紙版でも出す、重版ロットを下回った紙版をオンデマンド出版や配信に回すなど、出版社は限られたリソースを組み合わせで効率的に最大限の収益を狙う時代に突入しています。教育現場でも電子化の流れは進んでおりまだ一般には電子化されていない書籍

## ■理事就任のご挨拶

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
副理事長 下條俊幸

私が当協会に関わって今年で10年目を迎えました。私にとっては、急速な社会の変革とそれに伴う業況の変化による、さまざまなインパクトに戸惑い、苦悩し、その中でも可能性を求めつつ仕事に打ち込んできた、正に「あつ」という間の10年でした。

そして、これからも続く環境の変化は、「何が正しいのか」或いは「あるべき姿は」等という本筋論について、各社の中でも、さまざまなパターンとして混在していくでしょう。それは相互の「問題認識の乖離」

## ■理事就任ご挨拶

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
理事 時枝 正

先の定時社員総会で理事に選任されました音楽之友社の時枝でございます。前任岡部が昨年5月に当社役員を退任した関係でその職を空席とさせ、会員社の皆様に大変ご迷惑をお掛け致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。私は岡部の10歳後輩で、社長、常務職以外はほぼ同じような社歴を辿り、今般の本協会理事就任も因縁を感じる次第です。

尚、協会運営については不案内な新参者である関係

を自校専用の電子版テキストとして採用するところも出てきています。ご存じのとおり教科書でも最近はなかなか紙教材が予定の冊数さばけなくなってきましたが、こちらは学校側が電子教材の生徒数分を最大利用アカウント数として購入されることで、安定取入につながってきています。

新規ビジネスを円滑に伸ばしていくためには、企画から出版、販売までの社内フローを電子化や二次利用を前提に見直していく必要もごございます。また対著者への契約や電子や配信ならではの契約、印税配分の説明など、社内外に課題はさまざまあるかと思います。ぜひ各社ごとの次の10年の収益のベストミックス化を目指して取り組んでいただきたいと思います。当協会でも以前デジタル楽譜委員会（現在休止中）を設けておりましたが復活してはとの声もいただいております。理事会でもどのようなかたちでの復活・活動が望ましいのか、引き続き検討してまいりたいと思います、ぜひご意見をお寄せください。

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
副理事長 下條俊幸

ともなり、動もすればJAMPへの参画に対して、否定はせずとも「無関心」に向かう危険性も大きく孕んでいくことにもなるのではないのでしょうか。

ご承知の通り、JAMPは来年30年を迎えます。さらに存在感と影響力を持つ団体として活動していくために、私としては、守備範囲を広く、そして各社の関心が高まるような、そう云ったサポートが出来ればと思います。非力ではございますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
理事 時枝 正

から、過日、内田豊名誉顧問から協会の成り立ちや、現在抱えている諸案件などについて教示頂くこととなり、改めてその重責を感じているところです。

本会報が発行された時点では対応が決まっているだろう栗田問題など業界の不安定さが増す中で、本協会の存在意義がより一層問われてくるものと考えております。会員各社の協力体制の確立にご協力をお願い申し上げます。

## 委員会活動報告



### 販売対策委員会

販売対策委員長 木村一幸（シンコーミュージック・エンタテイメント）

販売対策委員会の2015年度の主な活動は5月15日よりスタートしております「楽譜・音楽書祭り2015～6月6日は楽器の日」になります。詳細は別頁に記載しますが、3回目となる今年は、課題でした既刊本を対象商品に取り入れられました。キャンペーンは8月31日まで、応募は当日の消印をもって締め切る予定です。また既報ですが6月26日に栗田出版販売が民事再

生手続きを申請し受理されました。その後、債権者説明会が開催されましたが、その内容は出版社が疑問・不安を抱くもので現在（7月中旬）も業界を揺るがしております。この件に関しましては、7月14日に当協会会員社にお声掛けをし緊急の「情報交換会」を開きました。販売を取り巻く環境はこれまでも増して厳しくなっており、先行きが不透明な状況は続いております。当委員会としましては、これまで以上に臨機応変な対応がせまられていると実感しております。

### 著作権委員会

著作権委員長 菅原敏彦（東京書籍）

本年度の著作権委員会は、例年と同様に、夏の「著作権講座」、秋の「著作権研修会」を2本の柱にして活動を行っていく予定です。

夏の「著作権講座」は今年で第23回となりますが、『インターネット／グローバル時代の著作権～著作権等をめぐる最新動向～』というテーマで、7月17日（金）に日本出版クラブ会館で開催しました。第1回から講師をお願いしていました半田正夫先生（青山学院大学名誉教授）からご退任のお申し出があったため、今年

から弁護士の福井健策先生をメイン講師にお願いして、また、同じ法律事務所の小林利明弁護士にもご登壇いただき、著作権等の最新動向についてご講演いただきました。

秋の「著作権研修会」のテーマは未定ですが、11月13日（金）に開催することが決定しております。デジタル化やネットワーク化、グローバル化の急速な進展で協会を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。それらの変化に正対し、かつ、協会各社の発展につながる活動となるよう、著作権委員会全員で取り組んでいきたいと考えております。

### 制作委員会

制作委員長 川元啓司（カワイ出版）

制作委員会では、本年2月に「PDF入稿における問題点と解決法」をテーマに講習会を開催しました。現在主流となっているPDFによる入稿ですが、印刷会社からスペシャリストを講師に招き、意外な落とし穴の回避や効率的なデータ作成など、実践に即した内容

で好評を得ました。

本年度の取り組みとしては、過去数年来継続している「不正コピー防止活動」とともに、楽譜出版社の編集者としての根本的な能力アップに寄与できる、勉強会のようなものを模索するつもりでいます。後にその成果をフィードバックすることが大切と考えています。

### 広報委員会

広報委員長 堀家康雄（リットーミュージック）

広報委員会では前期に引き続き、「楽譜・音楽書祭り」関係の制作物・販促物の制作等を行いました。

「祭り」実行委員会で策定されました制作物、スケジュールに則り参加店配布のチラシ、商品用オビ、会員社発行の雑誌掲載の広告、バナー広告を作成・配布いたしました。

5月15日のスタートに合わせ、参加出版社の対象商

品一覧及び各問屋さんからご連絡いただいた参加店舗リストを特設HPに作成して2月のペースで随時更新アップしております。昨年と担当が替わりましたため、不手際がありご迷惑をおかけしたかと思いますがご寛恕くださいませ。

また今回「祭り」のチラシについては、後援いただきました全楽協（事務局）様で会員社様に配布・ご紹介いただきました。こちらも合わせて御礼とご報告申し上げます。



## 「楽譜・音楽書祭り2015～6月6日は楽器の日」について

楽譜・音楽書祭り2015実行委員長 木村一幸

「楽譜・音楽書祭り2015～6月6日は楽器の日」は5月15日より無事、第3回目をスタートすることが出来ました。これも店頭展開にご協力いただきました楽器店様、今回より共催というかたちでご尽力いただきました日本楽譜販売協会様、後援を賜りました全国楽器協会様、並びに参加出版社の皆様のお陰だと感謝いたしております。

今回、実施要領において昨年までとの大きな違いは、これまでの課題でした既刊本をエントリーの対象としたことです。既刊本についてはすでにお店の棚にある帯が巻かれていない対象商品に配慮し

て、過去2回は対象外としてきましたが、今回は各社1点に限定し、実験的に既刊本をエントリーの対象としました。メリットとしては、①キャンペーンの開始当日から複数の対象商品を店頭でプレゼンできること ②エントリー商品の幅が広まり出版社がより参加しやすくなることの2点です。②につきましては、今年度、既刊本11点・新刊本66点で計77点となり、昨年より8点エントリー数が増えました。帯まき本と帯無し本が混在することの混乱はこれから検証しなければいけません。来年以降さらに推し進めたいと考えております。

しかしながら、まだまだ改善しなければいけない点も山積みです。楽譜の棚で如何にキャンペーンの一体感を演出できるか、その上で「6月6日は楽器の日」をユーザーにアピールできるかです。これについては来年に向けて早期に実行委員会を開き、検討していきたいと考えております。

7月中旬現在のところでは、応募は昨年以上の数をいただいております。キャンペーンは8月末まで続きますが、引き続き皆様のご協力を、何卒よろしく願い申し上げます。



## 一般社団法人 日本楽譜出版協会 組織

会長	佐々木隆一 / (一社団) 著作権情報集中処理機構代表理事	販売対策委員会	委員長	木村一幸 / (株) シンコーミュージック・エンタテイメント
名誉顧問	内田 豊 / 初代責任理事		副委員長	富澤勇次 / (有) 中央アート出版社
理事長	堀家康雄 / (株) リットーミュージック		副委員長	野田修市 / (株) ドレミ楽譜出版社
副理事長兼会計理事	木村一幸 / (株) シンコーミュージック・エンタテイメント	著作権委員会	委員長	菅原敏彦 / 東京書籍 (株)
副理事長	下條俊幸 / (株) 全音楽譜出版社		副委員長	山田真孝 / 教育出版 (株)
理事	時枝 正 / (株) 音楽之友社		副委員長	高木雅也 / (株) 全音楽譜出版社
理事	片岡博久 / (有) ケイ・エム・ピー	制作委員会	委員長	川元啓司 / カワイ出版
監事	鈴木廣史 / (株) サーベル社		副委員長	三須友裕 / 東京書籍 (株)
監事	久保貴靖 / (株) フェアリー		副委員長	亀田正俊 / (株) 音楽之友社
事務局長	本橋慎弥	広報委員会	委員長	堀家康雄 / (株) リットーミュージック
事務局員	島 茂雄		副委員長	富澤勇次 / (有) 中央アート出版社
			副委員長	片岡新之助 / (有) ケイ・エム・ピー

## 関連団体活動報告

### CARS (楽譜コピー問題協議会) レポート

韓 貴峰 (音楽之友社)

6月19日に開催された2015年度通常総会、及び幹事会にて、本会の目的である【発行された楽譜の違法な複製を防止するための活動を通じて、楽譜の適正利用の促進と音楽著作権の擁護を図り、以って音楽文化の普及発展に資する】を達成するため、引き続き関係団体と連携しつつ、以下の事業を実施していくことで可決されましたので報告いたします。

1. リーフレット、チラシ等の配布  
関係団体、教育機関、楽譜流通・販売事業者、コンサート・コンクール関係者等に対して、リーフレ

ット10,000部、チラシ30,000部を配布し、楽譜コピーに関する注意喚起、啓発及び本会ホームページの閲覧を呼びかけ、さらなる認知拡大を図る。

2. 音楽雑誌等への広告掲載

教育関係、合唱関係、吹奏楽関係を中心に、幅広い分野の音楽雑誌、団体機関紙等に広告を掲載し、楽譜コピーに関する注意喚起、本会の認知拡大及び本会ホームページの閲覧を呼びかける。

3. ウェブサイトを利用した広報  
「楽譜・歌詞のコピーに関するQ&A」及びブログ「楽譜 de 散歩

～CARSメンバーだより」等のコーナーを継続して掲載、随時更新することにより、本会ウェブサイトへのアクセス数増加と、閲覧者に対して楽譜コピーに関する啓発を図っていく。

4. 講習会等への講師派遣

教育機関等の講習会等へ講師を派遣し、楽譜コピーに関する啓発及び本会の認知拡大を図る。

5. 調査研究

IT技術の進歩等に伴う、新たな方法による楽譜の無断複製、流通に関する調査研究及び関係団体等との情報・意見の交換を行う。

### JCOPY 12月から5月までの活動

一般社団法人 日本楽譜出版協会 本橋慎弥

平成26年12月18日に第8回の運営委員会が行われた。12月1日に日本出版者協会(JPCA)との懇談があり、加盟申請の理由を文書として提出するよう伝え、更にJCOPYが日本複製権センター(JRRC)に改革案を提示しその推移を注視している間は明確な返答ができないことも付け加えたとの報告があった。使用料規程改定に伴う定款・管理委託約款・委託契約書の改定についての検討が行なわれ、これに関連し日本製薬団体連合会(利用者団体)との懇談があったことが報告された。

1月22日に第9回の運営委員会が行われた。JRRCの運営委員会が行われ検討事項の中で特にJCOPYからの申し入れに対する回答書案に関して意見交換がされたとの報告があった。電子化許諾に伴う使用料規程の改定に関して日本製薬団体連合会からの修正案

に弁護士の意見も加味して対応することになった。

2月25日に第10回の運営委員会が行われた。JRRC関連では4月1日より複写単価がUPされ使用料の増加が見込まれること、また2016年度からの3ヶ年計画案にJCOPYからの改革提案を加味しているとの報告があった。4月からの電子化許諾業務開始に備え権利委託者に委託の問い合わせを行っていること、また文化庁に新使用料規程を届け出たことが報告された。

3月20日に第11回運営委員会と理事会・総会が行われた。運営委員会ではJRRC関連で3月9日に開催された複製権関連団体懇談会で許諾契約促進のための広報活動、著作権法附則第5条の2の撤廃などの話題が取り上げられたとの報告があった。理事会・総会では電子化許諾を行うための定款の

改定と2015年度事業計画、予算案が諮られ可決された。

4月24日に平成27年度第1回運営委員会が行われた。JRRC関連ではJRRCが複数単価制について7月より検討を開始するが、JCOPYの求める指値と同義なのか、また実行時期がいつになるかなど確認事項が多くあることを指摘。このためJCOPY事務局よりJRRCへ確認の文書を送ることになった。JPCAの参加申請については各団体からの検討案に基づき回答書を作成することとなった。

5月18日に第2回運営委員会が行われた。JRRC関連では3月にJRRCから送付された回答書に対する返答書を5月11日に送付したことが報告されたが、こちらからの申入れが多岐に渡っているのでどこまで検討できるかとの疑問が出た。

# 楽譜・音楽書祭り 2015

2015年  
5月15日～8月31日

Japan Association of Music Publishing

楽譜は時代を超えた  
音楽メディアです

主催：一般社団法人日本楽譜出版協会  
共催：日本楽譜販売協会  
後援：全国楽器協会

6月6日は  
楽器の日

A賞 JT B旅行券2万円分 3名様

B賞 SONYハイレゾ対応 3名様  
ウォークマン® NW-A16  
ウォークマンはSONYの登録商標です。

C賞 QUOカード 500円分 600名様  
QUO クオカード 500  
本体カラーは選択できません。

合計606名様に当たる!!

応募方法

キャンペーン対象商品の帯に付いている応募券を官製ハガキに貼付し、①ご購入の商品タイトル②出版社名 ③お名前 ④ご住所 ⑤性別 ⑥年齢 ⑦ご希望の賞品名[A賞 B賞 C賞] ⑧本キャンペーンのご意見やご感想 を明記の上、下記までご郵送ください。なお、キャンペーンサイト(www.j-gakufu.com)よりハガキの印刷用データをダウンロードすることが可能です。

〒101-0021

東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館4F  
日本楽譜出版協会『楽譜・音楽書祭り2015』係

応募締切

2015年8月31日(月)  
(当日消印有効)

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

キャンペーン参加社  
(五十音順)

エー・ティー・エヌ、音楽之友社、学研パブリッシング、カワイ出版、くおん出版、ケイ・エム・ピー、自由現代社、春秋社、シンコーミュージック・エンタテイメント、全音楽譜出版社、中央アート出版社、東音企画、ドレミ楽譜出版社、ヤマハミュージックメディア、リットーミュージック

詳しくは [www.j-gakufu.com](http://www.j-gakufu.com)

協力誌

音楽の友

教育音楽

教育音楽

Stereo

Band Journal

ムジカノヴァ

レコード芸術

GIGS

B-PASS

YOUNG GUITAR

Songs

Piano

GUITAR

Guitar magazine

BASS

Drums

Sound & Recording

## ●おたまじゃくしの目●

ある都市にある楽器店の楽譜担当者の話し。どこにでもある、普通の楽器屋さんです。彼女はバイトこの道10数年、最近では人も減らされて、少ない人数で店を回していかなくてはならなくなって楽譜以外にも楽器の販売も任せかなり忙しい毎日過ごしています。でも誰よりも楽譜を販売する事に生きがいを感じていて、楽譜の棚は毎日きちんと整理し、前日に売れたものを欠かさずチェック、楽譜に挟まっている補充スリップを集めて毎日家に持ち帰り、これを注文しようこれは仕入れたけどダメだったなぁと考えている時が至福の時間。顔なじみのピアノ教師のお客さんのためだけの棚を作り、その人が使う楽譜は全て揃えておく。新しい教本が入ったら、とりあえず自分で勉強してみても人に勧める。常に楽譜の事を考えているようです。毎日の売上金額にも一喜一憂、こんな担当者がいてくれる楽器店と楽譜達は本当に幸せです。

考えてみれば、昔はこんな楽譜の名物担当者がたくさ

んいました。でも今は小売店も人件費削減や効率化が進み、品ぞろえや検索もIT化が進んでいます。ネット通販でも『あなたにおススメ』なんてしてくれる時代、小売店はどうしたら生き残っていけるだろう。キーワードはやはり『人』ではないでしょうか？SNSやメールで繋がっていても人と人との直接のコミュニケーションがどんどん少なくなってきた今、店に来て色々相談したり、直接商品を見て触ったり、担当者と世間話をしたり、最後に『ありがとうございました』と言われるような経験は、人間にとって基本的に気持ちのいい感覚なのではないでしょうか。これがある限り、楽譜を楽器店や書店で買う人はいなくなりません。彼女は今日も黙々と楽譜棚の整理、どうしたら楽譜が売れるのかなぁなんて毎日悩んで頑張っています。こんな人たちをたくさん増やせたらいいなと思う今日この頃なのです。

西澤 均 (株)プリマ楽器 楽譜営業部

## 「一般社団法人日本楽譜出版協会」加盟社一覧 (五十音順) (平成27年[2015]年6月25日現在)

会社名	代表者	住所	ホームページ
アルソ出版(株)	上原匡人	161-0033 新宿区下落合 3-16-10 大同ビル 3F	<a href="http://www.alsoj.net">http://www.alsoj.net</a>
(株)エー・ティー・エヌ	小林小百合	161-0033 新宿区下落合 3-12-21 目白エミネス 102号室	<a href="http://www.atn-inc.jp">http://www.atn-inc.jp</a>
(株)音楽之友社	堀内久美雄	162-8716 新宿区神楽坂 6-30	<a href="http://www.ongakunotomo.co.jp">http://www.ongakunotomo.co.jp</a>
(株)学研パブリッシング(音楽事業室)	松村広行	141-8412 品川区西五反田 2-11-8-16F	<a href="http://gakken-publishing.jp/ongaku/">http://gakken-publishing.jp/ongaku/</a>
(株)河合楽器製作所(出版部カワイ出版)	河合弘隆	151-0053 渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル 5F	<a href="http://editionkawai.jp">http://editionkawai.jp</a>
(株)教育芸術社	市川かおり	171-0051 豊島区長崎 1-12-15	<a href="http://www.kyogei.co.jp/">http://www.kyogei.co.jp/</a>
教育出版(株)	小林一光	101-0051 千代田区神田神保町 2-10	<a href="http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/">http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/</a>
(株)共同音楽出版社	豊田治男	171-0051 豊島区長崎 3-19-1	<a href="http://www10.ocn.ne.jp/~kyoonga/">http://www10.ocn.ne.jp/~kyoonga/</a>
(有)ケイ・エム・ピー	片岡博久	171-0043 豊島区要町 3-41-10 新東京観光ビル 2F	<a href="http://www.kmp.co.jp">http://www.kmp.co.jp</a>
(株)現代ギター社	倉田一秀	171-0044 豊島区千早 1-16-14	<a href="http://www.gendaiguitar.com">http://www.gendaiguitar.com</a>
(株)サーベル社	鈴木廣史	130-0025 墨田区千歳 2-9-13 ルックハイツ两国 1F	<a href="http://www.saber-inc.co.jp/">http://www.saber-inc.co.jp/</a>
(株)自由現代社	竹村欣治	171-0033 豊島区高田 3-10-10 トレ・サティス・スタジオ5 F	<a href="http://www.j-gendai.co.jp">http://www.j-gendai.co.jp</a>
(株)春秋社	澤畑 吉和	101-0021 千代田区外神田 2-18-6	<a href="http://www.shunjusha.co.jp">http://www.shunjusha.co.jp</a>
(株)シンコミュージック・インテイク	草野夏矢	101-8475 千代田区神田小川町 2-1	<a href="http://www.shinko-music.co.jp">http://www.shinko-music.co.jp</a>
(株)鈴木音楽産業	鈴木萬司	430-0852 浜松市中区領家 2-25-11	<a href="http://www.suzuki-music.co.jp">http://www.suzuki-music.co.jp</a>
(株)全音楽譜出版社	笠井恒明	161-0034 新宿区上落合 2-13-3	<a href="http://www.zen-on.co.jp">http://www.zen-on.co.jp</a>
(有)中央アート出版社	吉開狭手臣	135-0006 江東区常盤 1-18-8 伊東倉庫(株)内	<a href="http://www.chuoart.co.jp">http://www.chuoart.co.jp</a>
(株)東音企画	福田成康	170-0002 豊島区巢鴨 1-15-1	<a href="http://www.to-on.com">http://www.to-on.com</a>
東京書籍(株)	川畑慈範	114-8524 北区堀船 2-17-1	<a href="http://www.tokyo-shoseki.co.jp">http://www.tokyo-shoseki.co.jp</a>
(株)ドレミ楽譜出版社	山下 浩	171-0033 豊島区高田 3-10-10 トレ・サティス・スタジオ4 F	<a href="http://www.doremi.co.jp">http://www.doremi.co.jp</a>
(株)日研	吉川秀雄	577-0065 東大阪市高井田中 3-8-5	<a href="http://nikken-p.com/kuon/">http://nikken-p.com/kuon/</a>
日本キリスト教団出版局	竹澤知代志	169-0051 新宿区西早稲田 2-3-18-41	<a href="http://www.bp.uccj.or.jp">http://www.bp.uccj.or.jp</a>
(株)フェアリー	久保真靖	110-0004 台東区下谷 1-4-5 ルーナ・ファースト 4F	<a href="http://www.fairysite.com">http://www.fairysite.com</a>
(一般財)ヤマハ音楽振興会	三木 渡	115-8666 目黒区下目黒 3-24-22	<a href="http://www.yamaha-mf.or.jp">http://www.yamaha-mf.or.jp</a>
(株)ヤマハミュージックメディア	須田直治	171-0033 豊島区高田 3-19-10 昭栄高田馬場ビル	<a href="http://www.ymm.co.jp">http://www.ymm.co.jp</a>
(株)リットーミュージック	古森 優	101-0051 千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング	<a href="http://www.rittor-music.co.jp">http://www.rittor-music.co.jp</a>

当協会では随時入会を受け付けております。条件は1.会社の業態として楽譜の出版及び販売を行っていることが明らかであること、2.本会の目的に賛同し、入会金並びに会費を納める者、の2点です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

日本楽譜出版協会会報第28号(2015年8月発行)  
 発行人:佐々木隆一 理事長:堀家康雄 編集人:堀家康雄  
 発行所:一般社団法人日本楽譜出版協会事務局  
 〒101-0021 千代田区外神田 2-18-21 楽器会館 4F  
 電話&FAX 03-3257-8797 Eメール ofc@j-gakufu.com  
 ホームページ <http://www.j-gakufu.com>

この日本楽譜出版協会会報の定期購読をご希望の方は、送料のみのご負担で受け付けております。事務局までご連絡下さい。